



東京モーターショーに 「Z900RS」など2018年モデル 7機種を出展

川崎重工は、東京ビッグサイトで開催された「第45回東京モーターショー2017」に、「Z900RS」「Ninja 250」「Ninja 400」の世界プレミアム3機種を含む9機種を出展しました。

「Z900RS」は、40年以上の歴史を誇るZシリーズの新たなラインナップとなるワールドプレミアムモデルです。900ccクラスの並列4気筒エンジンや流麗なティアドロップ型フェューエルタンクなど、歴史的な名車「Z1」への尊敬の念と強いこだわりを持って開発された、Zシリーズの最新型レトロスポーツモデルです。

同じくワールドプレミアムとなる「Ninja 250」「Ninja 400」は、エンジン、フレームともに完全新設計での再登場となりました。Ninjaシリーズの世界戦略モデルとして生まれた「Ninja 250」は、デビュー

「第45回東京モーターショー2017」出展車両 9機種13台
(うち2018モデル7機種11台)

- | | |
|--|---|
| <p>●2018年モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Z900RS ・ Ninja 400 ・ Ninja 250 ・ Ninja H2 CARBON | <p>●参考出展(レース車両)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Ninja 1000 ・ Ninja 650 ・ Z650 ・ Ninja ZX-10RR (J・レイ選手チャンピオン車) ・ KX450F-SR (小方誠選手レース参戦車) |
|--|---|

から10年の節目を迎え、エンジンからフレーム、スタイリングに至るまで刷新。解析技術を駆使したさらなる軽量化とパワーアップを実現しています。「Ninja 400」は、250ccクラスの軽量化車体にパワフルな399cm³(輸出仕様)パラレルツインエンジンを搭載し、軽さ・コンパクトさと高いスポーツ性能を両立。両モデルともにLEDヘッドライトや液晶パネル付きメーターなど、装備もグレードアップさせたことでその魅力を高めています。



Z900RS

Ninja 250

Ninja 400



遠隔協調で熟練技術者の動きを再現する 新ロボットシステム「Successor」を販売開始

—ロボット化が困難であった分野への新たなソリューション—

川崎重工は、遠隔協調で熟練技術者の動きを再現する新ロボットシステム「Successor(サクセサー)」の販売を開始します。まず2018年度に川崎重工西神戸工場のロボット製造ラインへ導入するとともに、一部のお客さま向けに限定販売し、2019年度より一般販売を開始します。

「Successor」とは、遠隔協調を可能とする新開発遠隔操縦装置(コミュニケーターと呼びます)を有するシステムで、遠隔操縦により様々な分野にロボットを適用することが可能であり、このシステムは多岐にわたるカワサキロボットに対応できます。



「Successor」の主な機能

遠隔協調が可能な新遠隔操縦装置(コミュニケーター)を用いて、以下を実現しています。

- **自動運転/遠隔操作のハイブリッド機能**
ロボットの自動運転と人による遠隔操作を自由に組み合わせることができるため、製造ラインのロボット化が可能です。
- **マルチコントロール機能**
一人の作業者が一台の入力装置で複数台のロボットを遠隔操作することができます。
- **コンバージョン機能**
人が遠隔操作で動かした動きを、そのままロボットが憶えて自動運転に切り替えられます。
- **AI機能**
人が遠隔操作で行ったばらつきのある作業でも、AI技術でロボットが学習することにより自動運転に変換することが可能です。
- **トレーニング機能**
熟練技術者の作業をロボットに記憶させることで、後継者へロボットを通じた技能伝承ができます。

最新の技術・製品情報をお届けします



HOT TOPICS



ビッグデータを活用した新開発の船舶運航管理支援システム 「SOPass」を初受注



川崎重工は、三井物産株式会社より、ビッグデータを活用した新開発の船舶運航管理支援システム「SOPass^{*1}」を受注しました。今回が「SOPass」の初受注であり、同社が用船する川崎重工建造のLNG運搬船に搭載されます。

「SOPass」は、従来から川崎重工が販売している一般貨物船向け最適航路の情報提供を行う船舶総合情報サービス「K-IMS^{*2}」や、LNG運搬船向けにガス燃費解析が可能な運航管理支援システム「LNGC-NEO^{*3}」および「LNGC-ISS^{*4}」が有する個々の機能向上かつシステム統合を図り、新たにクラウドサーバーの利用や機械学習機能を追加しました。また、業界初となるLNG運搬船向けLNG貨物の管理最適化機能を新開発しました。

今後も様々な種類の船舶へ「SOPass」を搭載し、最適な運航航路の提案や、荷役部・機関部の運転状況を可視化することによって、より経済的で安全な運航に寄与します。



- *1: Ship Operation and Performance analysis support system
- *2: Kawasaki - Integrated Maritime Solutions
- *3: LNG Carrier satellite Network Observation
- *4: LNG Carrier Integrated Solutions Support



5MW級で世界最高効率の 純国産ガスタービン「M5A」を販売開始

川崎重工は、5MW級の純国産高効率ガスタービン「M5A」の開発を完了し、国内および海外での販売を開始しました。

「M5A」は、5MW級ガスタービンでは世界最高の発電効率32.6%を達成し、同機を用いたPUC50Dコージェネレーション(熱電併給)システムはクラス最高の総合効率84.5%です。この高い総合効率により、エネルギーコストの低減とCO₂排出量の削減を実現します。

また、環境性能においても、最新のドライ低エミッション(DLE)技術により、窒素酸化物(NOx)排出量は52.5ppm(O₂=0%)を達成しています。さらに、メンテナンス性では、オーバーホール交換作業の効率化を図り、中間点検を簡易点検(ポアスコープ点検)とすることで、年間稼働時間を向上させています。

